

タンザニア 国連WFPの地産食材による学校給食



これまでに集まったご寄付

3,723万5,958食

(2015年11月末時点)

© PCI

TABLE FOR TWOはタンザニア北部のマラ州と中部のシンギダ州の40の小学校で国連WFPが実施する給食プログラムに資金を提供しています。2015年に始まった本プログラムでは、給食に用いられる食材を地元やタンザニア国内の農家から調達しています。小規模農家から給食の食材を仕入れることは、地域経済発展にもつながっています。

届いた食材を囲み喜ぶ生徒たち



© PCI

青空の下で「いただきます！」



© PCI

給食の主要な食材となるマメは地元農家から、メイズ(とうもろこし)はタンザニア国内から調達され、各校の敷地内の倉庫に保管されています。

生徒たちは木の下や、テラス、中庭などで友達と一緒に給食を食べます。給食は多くの生徒が最も楽しみにしている時間です。

TABLE FOR TWOは開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組み、日本発の社会貢献運動です。

TABLE FOR TWO代表より



TFT代表 小暮真久

日頃からTFTプログラムへご参加いただき、ありがとうございます。タンザニアでは労働人口の8割を農業部門が占めています。農業はタンザニアにおける経済成長の核であり、貧困削減の鍵です。地産食材による学校給食は子どもたちの成長だけでなく、小規模農家を支えています。

タンザニア連合共和国

アフリカでも有数の大自然に恵まれ、豊富な観光資源を誇るタンザニアは近年は経済的にも成長を続けています。一方で、農村部における貧困率は依然として高いままです。

- 首都: ドドマ
- 言語: スワヒリ語、英語



タンザニアでの地産食材による学校給食は国連WFPが実施するプログラムです。TFTは国連WFPとのファンドレイジング協定に基づき、本プログラムを支援しています。